

- 1 日時 : H29 年 7 月 7 日 (金) 16:00~18:00
- 2 場所 : 校長室
- 3 参加者 : 学校協議会委員(敬称略) :
  - 委員長 米津 俊司 (大阪教育大学教授)
  - 委員 樽井 弘三 (高槻市立第八中学校校長)
  - 柏原 泰和 (本校同窓会会長)
  - 小林 紀子 (本校 P T A 会長)
  - (欠席) 本村 康哲 (関西大学教授)
  - (欠席) 高井 伊知子 (高槻市立奥坂小学校校長)

本校 :

奥谷校長、赤岸事務長、小川教頭、安田首席、相澤首席  
荻野(教務部長)、小林(朗)(進路部長)、坂元 (生徒指導部長)、  
古賀 (保健部長代理)、浦久保 (総合調整部長)、高木 (記録)

#### ◆ 議事録

- 1 開会挨拶 (校長)
- 2 委員長挨拶、委員紹介
- 3 本校の現状と課題
  - ・各分掌 (教務部・進路指導部・生徒指導部・保健部・総合調整部) より説明
  - ・学校評価・授業評価について担当者より説明

【 質疑応答 】 ①②③⑥⑦⑧⑫⑬⑭

【 意見 】 ④⑤⑨⑩⑮

【 報告 】 ⑪

#### 各分掌からの説明について

- ① 総合調整部の業務内容について、入試の広報活動をするのか  
→校内の、入学式・卒様式等の式典も担当する。  
入試の広報は総合調整部がするが、入試の事務は教務が担当する。
- ② 進路指導は先生方がとても頑張っている印象だが、進学率はどれくらいか。  
→4 年制大学 77.2%、短大 28 名 7.2%、専門 8.4%、就職 (全員公務員) 3 人 (0.3%)  
再受験 (浪人) が 25 人 6.4%  
専門学校は看護、医療系に加え、今年は美容系が 5 名と多い  
短大も例年より多かった。

※ 教志コースの生徒が、実習段階で就職をコーディネートしてくれる短大に進学している生徒や短大から転入を狙い、関西外大などに進学した生徒も3名いる(36期生)。

- ③ 私学中心に受ける生徒が多いか。  
→理系に国公立を受取る生徒もいるが、文系は私学が中心。  
ただ、センターを216人が受けた。  
文系なら国語と英語、理系なら理科と英語で7割取れた生徒はセンター利用受験を勧めた。
- ④ HPの件について、HPを見て知ることもあるので、更新頻度が増えるとうれしい。  
よく見ている親もいる。よくやっけていただいていると感じる。
- ⑤ 実習に来る北高の卒業生は、挨拶もよくするし、先輩として慕ってくれている。  
自分たちが育ったときよりもいい方向に向かっていると感じる。  
教志コースについてよく知らない同窓生にも発信している。いろいろな形で学校を応援したい。
- ⑥ 1.34倍という競争率の高校なので、近いけど手が届かない(中学)生徒がたくさんいる。  
「行きたい学校」の一つだが、落ちてくる生徒も多いから、頑張らせないといけない。

八中では、中間層にスポットを当てることを考えている。

遅刻しそうな生徒がいたとき、中間層の子どもにも遅刻の子と同じように声をかけなければいけない。

どうしても中間層の子どもが後回しになるのだが、新規の不登校生は中間層から出てくる。

不登校が多いと言うが、何故多いかという、新規が増えるからだ。新規を抑制しなければならない。

中間層の少し上の子たちが北高に、たくさん憧れて来ている、という印象を持っている。

だから北高に来ている生徒たちは、先生たちからあまり声をかけられてきていない可能性がある。

その視点から、中退、不登校はどうか？(中学校では30日を越えたら不登校と言っている)

→3年 1人転学、中退はほとんどなく、3年間で1人くらい。

高卒認定の制度を利用して、自宅で勉強して大学に行く生徒が3年間で1、2人いる程度。

他はほぼ転学で、学校に来なくなったり、成績不振で原級留置になって転学する。

3学年合計で一桁台で減少傾向、以前は原級留置がもっと多かったから。

今は欠席で欠単位が多い。不登校は、1学期で5人未満(3学年合計)。

一年生には一人いる。

- ⑦ 部活動で1Wに1日以上以上の休養日を設定しなければならないが、どうなっているか。

(府立高校は2月から、高槻市は7月から)

→部活動は土日も含めた7日間で、どのクラブも1回は決めている。

サッカーは土日がほとんど試合なので、月曜の朝にミーティングで振り返りだけして終わる。

(校長より)

本来、土日のどちらかを休みにしたいが、日曜が試合というのがほとんどで、前日は練習となる。

土曜に公式戦にするように高体連に働きかけないといけない。

金、土、日曜の3日間試合があり金曜は公欠ということもある。

また8月下旬に公式戦をやっていた競技があったが、今はほとんどの学校が8月下旬から2学期。

- ⑧ 「教員一斉退校日」はどうなっているか。工夫していることはあるか。  
→水曜7時以降に勤務していたのは、直近から順に遡って6名、5名、5名、13名、4名、6名。  
個別で声かけをし、ひどい場合は個別で働き方を見直すよう話しています。  
1～3月当初は寒く暗い時期で授業も減るので大丈夫だったが4月は業務などで増えた。
- 磐手、奥坂、八中とも水曜にしようとした。北高もなら4校ともだ。  
水曜は地域の会議もできるだけ入れないようにお願いしてある。
- ⑨ 通学時に子どもたちとハイタッチをするのだが、春に子ども達の手のほうが冷たいことが心配だ。
- ⑩ 昨日、部活で走っていて、熱中症で保健室に駆け込む子が多く出た。  
それほど気温が高いとは思わなかったが、中学1年生は子供の体型だ、  
高槻病院に3人搬送され、2人は点滴を受けた。保護者へのプリントを本日持って帰らせた。  
熱けいれんを起こしている生徒もいた。こちらの配慮も少し足らなかった。  
中1はこんなに小さいのか、と改めて思った。

#### 学校評価、授業評価について

- ⑪ 昨年度からの変更点の説明
- ・生徒用のA11番「先生方はプロジェクターを活用しているか？」  
昨年度の後半に、40周年で4階に電子黒板を導入。今年4月当初から使っている1年生に聞いた
  - ・A19番「先生方はいじめ防止のためにアンケートや注意喚起を行っているか」  
「安心安全のためのアンケート」を取っているため、「アンケート」という言葉を使った。
  - ・自由記述欄は、いろいろな突拍子もない記述が書かれるのを防ぐために「アイデア」と入れた
  - ・裏面は授業評価にも「プロジェクターを積極的に取り入れているか」という設問を追加
- (結果報告)
- ・結果の集計はこれからだが、1年の自由記述だけをリストにした(A4両面刷りの資料)
  - ・120くらいの生徒の回答を、同趣旨の物をまとめて100にした。
  - ・今年1年からカリキュラムが変わったが、学習面で「授業が騒がしい」という声が少ない。
  - ・自習ができるスペースがない、という声が増えた。
  - ・プロジェクターが見にくいという声が出てきた。
  - ・「先生方はプロジェクターを活用しているか？」は74%が 使っている、と肯定的な評価。
  - ・進路について教えてほしい、という声が増えた。
  - ・石鹸が足りないという声が増えた。
- (ほか、例年同様の内容についても報告あり)
- ⑫ トイレについて
- 小中は改修が進んでいるから、一つはきれいな個室があるが、高校はあまり進んでいないようだ。  
洋式は何パーセントになるか。  
小学校では、プール開放日に使用できるトイレを限定すると、使わずに我慢する児童がいる。

ウォッシュレットに慣れている子どもたちもいる時代だ。

→(事務長より)

- ・ 府立高校のトイレは段階的に改善され、本校は来年度、1系統（東/中央/西のいずれか）を改修。残りの2系統は今のところ見通しが無い。
- ・ 洋式に改修すると、内開きにできないので、動線も考えないといけない。動線を見ながら、数を減らさないように改修を行っていく。全部はできないので、改修されたきれいなトイレに集中するなど弊害が出るのではと聞いている。

- ⑬ 若い先生が増えている。比率を教えてください。若手の教員、10年未満の教員が何人いるか。学校経営計画の「教志力の向上」に関わってくる。30代で主席をしている先生もいる。若手の先生にどんどん力を付けていてもらいたい。

→教員 64人 50歳以上 33名、40歳代 9名、30歳代 9名、20歳代が 11名。

平均 46.6歳は府の平均とだいたい同じだ。女性 27名、42.2%で、これは高い。

圧倒的に50歳代が多い。60歳代も入っている。社会は54歳以上が10名、20代が1名。学校によると50代がない学校もあるようだが、学校によっても違うか。

→困難校は若手が多い。若手の先生を中心に、35にならずに首席を勤める、など

- ⑭ 学校評価・授業評価の集計、取りまとめは誰が担当しているか。

小中の先生が若い。みんな前向きだが、教えてあげる先生が少ない。

学校評価の担当などに関わり、学校評価の意味を伝えていくことが必要かと思う。

1.34倍の倍率は府立高校の中でも高いが、それが当たり前でなく、

取り組みの成果だということがわかると良いと思う。

→運営という点においては、一人でやってきた。いかに組織だてるかは今年の課題だ。

- ⑮ 今小学校低学年でスマホを持ち、子ども達がやり取りしている。

それぞれの携帯を取り上げて見るくらいしないと、いじめのことはわからないが、プライバシーの問題も関係してくるから今はそんなことできない。

そういう時の対応策をきちっと確立しておかないと、先生方が入っていけない事態になるのでは。

#### 4 校長から報告

29年度の学校経営計画について（資料の網掛け部分）

小中が力を入れているので高校も継続する必要があると訴えたところ、

夏に2、3年の教室にもプロジェクターが入ることになった。

（次の日程について確認。終了。）